

SSKU **2017年度**
お元気ですか?
イリアンソス
です。



PAGE

03 “イロイロ”イリアンソス(拡大版)



PAGE

02 理事長の散歩道



理事長の散歩道
社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝

ゆつたりのんびり

前月きょうされん長野支部の学習会に参加させていただきました。長野市内のグループホームの見学も行われ長野市多目的スポーツアリーナ ビックハットの近くにある7人のホームを見学しました。社会福祉法人絆の会が運営するグループホームの一つですが、わがイリアンソスの「生活寮そら」と同じ7人定員で、平屋で規模は一回りぐらい大きなグループホームでした。写真でもわかるように、リビングの真ん中に畳のスペースがあります。そして、大きなコタツがあり、ゆつたりとそしてのんびりできる空間になっていました。わが「生活寮そら」も障害のある人の暮らしを大切にしたいと思って、できるだけ余裕のある空間を確保してきました。



▲コタツがあって日差しも暖かな空間

それを上回るくらい利用者のことを考えた暮らしの場なのでとても感心しました。次の日、きょうされん長野支

部の事務局長の事業所がある大町市にいて事業所の見学をさせていただきました。大町市は、江戸時代千石街道の宿場町として整備され、物流の中継地点として栄え、現在は立山黒部アルペンルートの大町側玄関口として有名なところです。

写真は、大町市の商店街の中に一つでアーケード街になっているところです。手前の右側が就労継続支援B型事業所の「がんばりやさん 名店街」です。以前、この商店街はシャッター街として空き店舗が沢山ありました。そこで、その空き店舗を借りて福祉事業をやるうと商店街と交渉をしたそうです。しかし、障害者が利用するというところで、最初は反対されてしまったそうです。それでも、諦めずに出店交渉をして何とか事業をすることができたそうです。すると、若い人たちが空き店舗を次々と借りるようになり、今では全く使われていない店はないとのこと。 「がんばりやさん」も最初は1店舗だったのがパン屋さんや相談支援室など4店舗も増えていきました。そして、利用者の昼食を商店街のお店で注文すると「●●さんの注文です」というと、その利用者が食べやすいようにカットや配慮をしてくれるようになったそうです。これこそ、共生型のモデルではないかと感じました。現在、大町市としては街をアピールするものが少なくなっていると所長さんが

おっしゃっていましたが、西に北アルプスを眺め、障害のある人が商店街の中で街の活性化の一翼を担っている姿を見るととても住みやすい街だなと感じられて、地域に根付いた取り組みとしてとても勉強になりました。

昨年からは、きょうされんの仕事が広報出版委員会から組織運動委員会に代わりました。その関係で栃木や群馬、茨木、新潟、長野などそれぞれの支部活動を支援する役割で、会議や研修にでかけることが多くなりました。その中で、それぞれの支部や事業所が、地域に根差した活動をとっても丁寧に行っている姿がたくさんありました。本当に勉強になります。今後も様々な地域の取り組みを学びながら、わが法人の事業も充実させていきたいと考えます。



▲商店街ににぎわいを

拡大版

“イロイロ”イリアンソス

今回は、拡大版“イロイロ”イリアンソスと題して写真で一年間を振り返ります。仕事・レク・旅行・調理・生活の様子、どの場面もたくさん笑顔があふれています。仕事を通して社会とつながり、生まれ育った地域で暮らす。児童では遊びの中から仲間を想い、日々、成長していく姿があります。

法人の理念でもある「一人ひとりが主人公」を実現するために各事業所で様々な活動に取り組んでいます。来年度の抱負も各事業所から寄せてもらいました。

にぎやかな様子が写真からも伝わります。



のぞみの家

美味しいだけでなく、食べ易く身体に優しい給食作りとは。

今年度、のぞみの家は、食について学び直し試行錯誤した一年でした。個々の咀嚼、嚥下の状況を発達の視点から捉え、食べ易い食形態を見直しました。

食べ易くすることで、いつも残していた利用者が自ら意欲的に食べる姿も見られています。

先日、給食室の工事に伴い、一週間だけ仕出し弁当となりました。手作り給食が再開すると、「たまにはいいけど、やっぱり味気ないよね」と嬉しそうなTさん。給食の有難味を実感した一週間でした。

食べることは、生きること！食だけでなく医療や身体のこと、仕事や余暇活動など…。のぞみの家の生活が利用者にとって生きるエネルギーとなるよう、来年度も頑張っていきます。



活動センターななえ

今年度は班が一つ増え「なのはなグループ・だるま班・ちゅーりっぷ班」の3つの班で活動してきました。昨年度から活動する部屋はいくつかに分かれていたこともあり、大きな混乱もなく、見通しを持って活動できていたと思います。

また、新しい仕事も始めました。それは空き地整備です。かねえの隣にある大きな空き地の草むしりなどをやる仕事です。どのように進めるのか始めは職員も含めて、四苦八苦しながらでしたが、今ではみんなが見通しを持って、抜いた草を決めた場所まで運んでいる姿が見られます。夏場には抜いた草で大きな山ができるほどでした。

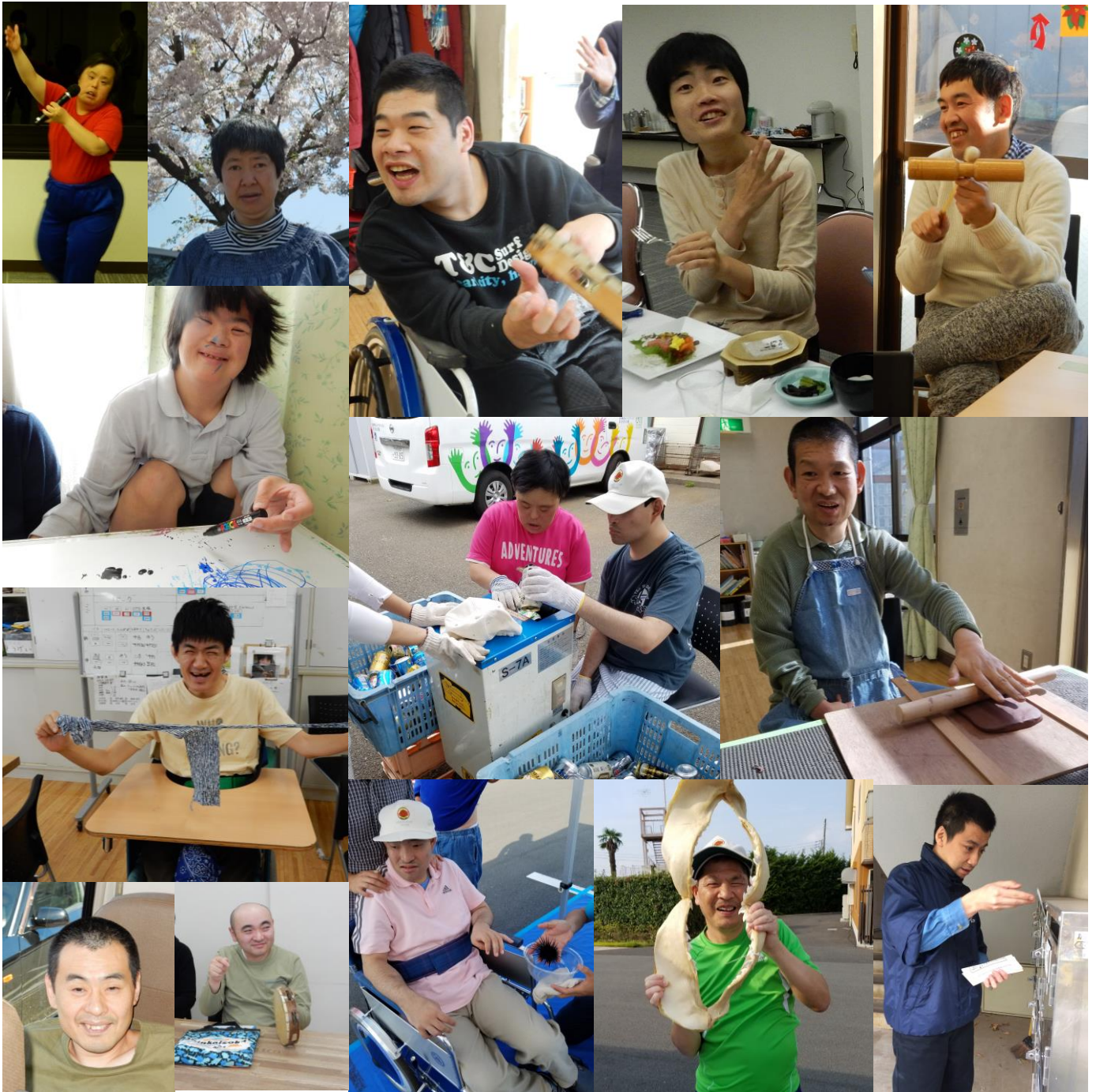
来年度は抜いた草を利用して堆肥作りができないかと考えています。

なかまの家

1年間の活動の中で、皆さんの力を感じたのは広報折りです。工夫を重ね上手に折れるようになりました。今では折りの作業を活かし物品のチラシを重ね、ホチキス止め、折りまでするようになりました。これこそ、継続は力なりですね。これからも皆さんの力が発揮できるようなスタッフと一緒に頑張って張ります。

思い出アルバムの中には、葛西臨海公園水族館から近くの老人ホームへ移動水族館が来るといいうチラシを元に見学をしに行った貴重な体験があります。トラツクの水槽には熱帯魚や鰻が泳いでおり、ヒトデや、やどかりに触れることも可能でした。

クリスマス会では久しぶりに、鈴やカスタネットの打楽器を出しクリスマスソングに合わせ、歌いながら合奏を楽しみました。懐かしい楽器を演奏する姿、とても楽しそうでした。



このみ

今年度も様々な子ども達の成長を見ることができました。活動のできごと。目が合うだけで、言い争いになったり、叩きあいになったりする場面が目立つようになりました。班分けを行ったりして距離を取る体制を作りました。そのような体制で数ヶ月が経過しました。あるとき、このみの庭でボール遊びをしているとき、「うちちゃんも一緒に遊ぶかなあ？」と一言うことがありました。スタッフから「誘ってみれば」と言われその友達に「ボールで一緒に遊ばない？」と声を掛けると「良いよ」と即答して一緒に遊ぶことができました。数ヶ月の間、色々なことがありましたが、そのようなことはまったく想像できないくらいに仲良く遊んでいます。日々、子ども達も様々なことを考えていること、子ども達のやり取りの大切さをあらためて感じることができました。





生活寮

新しい入居者さんも
加わり賑やかな一年で
した。

医療面では、訪問看護
師が月に1回入るよ
うになりました。改め
て健康面の支援の重要
性を感じた一年でし
た。

これからも、一人ひとりに
ついて、地域におけるかかりつけ医と
のつながりの充実や訪問看護利用の拡大を通して、医療からのアド
バイスや指示が利用者や家族、私たち支援者
側にとっても大切です。今後もこの体制を
崩すことなく継続して
いきます。その上で、
利用者さんの想いや気
持ちを引き出しその人
らしい暮らしを送れる
ようスタッフで取り組
み、「生活の空間」とし
て第2の家庭の場とし
て、安心して元気に笑
顔のある生活作りをし
ていきたいと思えます。



ご寄付をいただきました(12月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございます
ございました。いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来
構想の資金として大切に使用させていただきます。

一般社団法人 尚友倶楽部 様
ザ・プライス 滝山店 様
藤田 祐子 様

ありがとうございます。

寄贈

活動センターかなえに東京都共同募金会様
よりリフト付きのハイエースをいただきま
した。
送迎や活動などに使わせていただきます。

ありがとうございます。



職員のつぶやき...

12月、東久留米のイオンで事業所ごとの実践レポート発表
(事業報告会)がありました。

報告会ですが、私たちの勉強の場でもあります。本当の意味
での寄り添い、その人の歴史を知り支援を進める...支援者の志
を改めて心に刻みました。相手の気持ちになって行動する。欠
けている心を補いながら日々成長出来るよう頑張りたいと思
います。

なかまの家 津田雪枝

表紙の写真/イリアンソス交流会

入所・成人・還暦を祝う会をおこないまし
た。食べて踊って、大盛り上がりでした。

《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドウーラ祖師谷102号室
Tel 03-6277-9611 Fax 03-6277-9555

《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス
〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18
Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・吉田遊佑・津田雪枝
中西亮太・疋田史江・水俣あつ子
ホームページからはカラーで
ご覧いただけます

イリアンソス 検索

定価 一〇〇

社会福祉法人イリアンソス

- のぞみの家
東久留米市下里 2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp
- 活動センターかなえ
東久留米市南沢 2-20-51
042-452-6405
042-452-6415 (F)
kanae@iriansos.or.jp
- なかまの家
東久留米市中央町 2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp
- 生活寮「うみ」「そら」
東久留米市下里 4-2-7
042-476-3400 (F兼)
sora@iriansos.or.jp
- 生活寮「にじ」「かぜ」
東久留米市下里 5-10-10
042-420-9943
kaze@iriansos.or.jp
- このみ
東久留米市幸町 3-8-23
042-473-9667